

## 具体的な取組

地球温暖化、環境汚染、資源の枯渇を理解し、日常の業務の中で改善できるものを検討しましょう。

### 循環型社会への PR 活動

- ・ 物品購入には、可能な限り環境優良商品を優先的に購入する。
- ・ 環境優良商品を優先的に宣伝・販売する。
- ・ 環境セミナーに参加し最新の環境情報収集に努める。
- ・ 環境優良商品の社内・社外講習会に参加する。
- ・ 環境展見学会の企画実施を行う。
- ・ 納入業者・仕入先に、環境優良商品の紹介を要請する。
- ・ 納入業者・仕入先に、梱包材の簡素化又はリサイクル可能なものでの納品を要請する。
- ・ 入荷品に入ってくる梱包材は出荷時の梱包材として再利用する。その際、送り状等の除去、仕入先からの納品書・請求書が入る事無いよう注意する事。
- ・ 使用済み封筒は、社内連絡用や商品の梱包用として再利用する。この際、元の宛名を消し誤配の発生しないよう注意する。
- ・ 必要以上と思われる量の残っているカタログは返却等整理し、次回受入数の参考にする。
- ・ 定期配布カタログは早期に配り終える。
- ・ 仕入先・メーカーに協力を要請し大型総合カタログ等の最新版発刊の際はお客様から旧版の回収を行う。
- ・ チラシ等の販促品は、マーケットを検討し適量作成する。

給湯器メーカー(株)コロナ様の「エコキュート講習会」にお取引先10社の方に出席頂きました。

自社倉庫を利用して「スプリングフェア」を開催。ものづくり、まちづくりにわかれ省エネルギーや高耐久性の商品を当社オリジナルエコマークを貼ってご紹介。3日間で220名の方にご参加いただきました。



当社オリジナル  
エコマーク  
社内イベントで活躍中！



秋には、「オータムフェア」を開催。企画として「産業とくらしのグランドフェア2006」「2006NEW環境展」見学会を実施。お取引先33社57名、当社社員29名が参加しました。見学後は車中にて「エコアクション21」の紹介をおこないました。



環境エネルギー問題特別講演会に出席 講演テーマ：「資源インフレ」時代が来た！  
 ふくい環境シンポジウム「地球温暖化とグリーン購入」に出席 基調講演「今すぐアクションを地球温暖化の危機は目前に」

また、請求書や納品書発送用に従来「ポリエチレン窓」のクラフト封筒をしておりましたが、18年9月より全て古紙リサイクル可能な「エコ窓」で封筒部分は古紙パルプ100%の再生紙使用のものに変更しました。毎月約3500通発送しており、小さな「エコ窓」ですがお客様の目にとまっていただけだと思います。



社用車としてハイブリッドカー「プリウス」を導入しました。主に社長が使用しておりますが、エコカーでお取引先にも環境アピールです。

## ミス防止によるロス削減

- ・電話での受注は必ず復唱し、取引先名・品名・数量・納入先等の間違いが発生しないようにする。
- ・倉庫、配送担当者は、それぞれ検印を行い、お客様に信頼していただけるよう責任を持って作業を行う。
- ・営業車・トラックに、期限の切れたカタログ、お客様からの返品・預かり品等が乗せたままにならないよう努め、整理する。
- ・納期に合わせた一括入荷、一括納品により梱包材の削減や配送の効率化に努める。

戻り・返品・訂正伝票の枚数を測定。全枚数48万枚中2万5千枚 約5%。すべてがミスからでは無いが、今後どれくらい削減できるか、引き続き測定していくこととしました。

## 節 電

- ・昼休みは、不必要箇所の照明を消す。(店頭は除く)
- ・外出する場合など長時間席を離れる場合はモニター及びコンピューターの電源を落とす。(伝票出力用の端末を除く)
- ・閉店後(残業時)は使用箇所の空調、照明以外消灯する。(当番確認)
- ・退社時はコンピューター、プリンター、コピー機の電源を落とす。
- ・情報システムチームは24時間稼働必要なサーバー・端末にテプラで明記し、節電行動によるトラブルが発生しないよう管理する。
- ・トイレの照明、換気扇は使用時以外消しておく。
- ・入社時の空調設備は一度に全て入れない。
- ・空調設備は各事業所の環境に合わせて設定温度を定め管理する。
- ・一時的にでも過剰な温度設定は空調設備・電気設備に負荷を与えるだけで効果が低いので行わない。
- ・就業時間内の業務集中に努め、ノー残業日を設定する。
- ・可能な限り、入荷日・入荷時間を調整し荷受け作業による時間外労働を削減する。
- ・クールビズ・ウォームビズなど季節・環境に対応し、適切で安全な服装をする。
- ・電気またはガスを使用し、お湯を沸かす際は適量に努める。

電気使用量は、目標には届かなかったものの前年使用量から約4%の削減できた。ただし、これは暖冬による影響が大きいと思われ、照明・空調の管理は浸透してきたが、外出時のパソコンの電源OFFは全く徹底できていなかった。

## 節 水

- ・散水時、清掃時また台所、トイレでの水道使用時は節水に努め、蛇口の閉め忘れが無いが必ず確認する。

少人数の事業所では、洗濯の回数を減らすなど効果をあげることができたが、大型事業所では、来客も多く成果は上げられなかった。

## 紙使用量削減

- ・会議にはプロジェクターやホワイトボードを使用し配布資料は必要最小限にとどめる。
- ・会議資料は数を確認して可能な限り両面印刷を行う。
- ・社内の連絡・通達事項は、サイボウズを利用し紙媒体、ファクシミリによる回覧・連絡は必要最小限にとどめる。
- ・コピー機で複数枚印刷、拡大縮小等および特殊機能を使用した場合は、次の人のために必ず「リセット」ボタンを押す。
- ・書き損じ、印刷ミスをした場合、破らずに裏紙として使用する。
- ・確認のための印刷など保存を必要としない印刷は、用途を検討して裏紙の使用に努める。

社内連絡用の紙での回覧やファクシミリをWeb(サイボウズ)に切り替えたおかげで、各部への連絡に時間差が無くなると同時に意見などの出し合いも簡単になり、良い効果が得られました。

裏紙利用も習慣づけられてきましたが、社内資料や機器の性能上 使用に適さない紙の使用も見られ、注意も必要です。



「1枚でよかったのに・・・」ってことがありますよね。

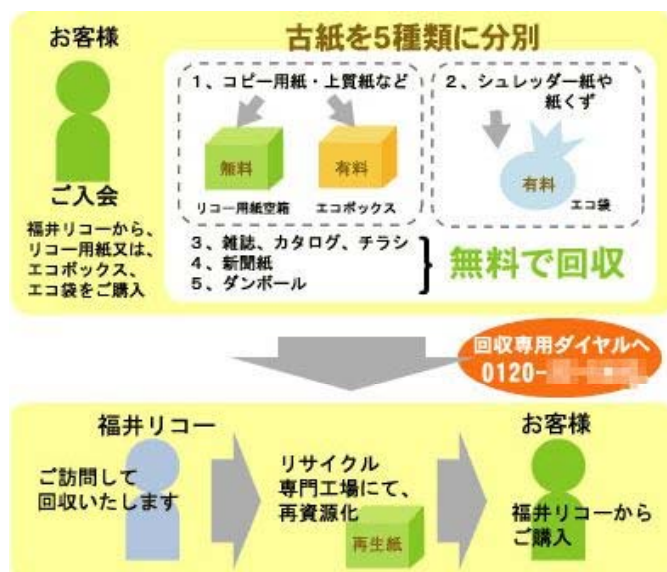
## ゴミ排出量の削減

- ・価格表、見積書、納品書、請求書及び個人情報・社内機密事項の記載された書類は裏紙として使用しない。この場合、破ったりまるめたりせず記載箇所又は全てを必ずシュレッダーにかける。
- ・ゴミの排出量を削減するため、分別を行いリサイクル率を高めるよう努める。
- ・使用済みコピー用紙はコピー用紙の空箱に入れ「グリーンサークル」(お取引先での環境活動に参加)により再資源化する。
- ・集金に使用したものなど再利用に向かない封筒は、古紙の分別を行い再資源化する。
- ・古新聞は、依頼があれば学校・町内等の廃品回収に優先的に供出する。
- ・段ボール紙、新聞紙、雑誌・カタログ・チラシは出来る限り金具等を外し、グリーンサークル利用時に合わせて出し再資源化する。または、取引先の紙管製造業社の回収活動に出し再資源化する。

今回より測定した結果、この1年間で約15000kgの古紙をリサイクルに回しました。当社は、入荷品が多く梱包材として段ボール紙などもたくさん集まります。さらに分別を



徹底してゴミの排出を削減していきます。



「グリーンサークル」のリサイクルシステム（福井リコー様より）

当番制で毎朝始業前、周辺清掃とあわせて、社内の古紙整理を行うようにしました。はじめは新聞や雑誌がうまくくれない社員もいましたが、手際もよくなり良いコミュニケーションの時間となりました。

定期的に納品・引き取りのあるお客様に「通い箱」を用意。お客様へのゴミ削減にも一役買ってます。



## エコドライブ

- ・ 交通規則を守り、急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど「急」のつく運転を行わない。
- ・ 車両管理者は、空気圧等始業前点検を行う。
- ・ アイドリングストップに努める。
- ・ 車両を離れる際は、キーを抜き施錠する。
- ・ 出入り業者等にも敷地内でのアイドリングストップを要請する。

目標には及ばなかったが、今回の取組で約2%燃費向上できました。

当社の車両台数は108台あり、この燃費向上で約5000リットルの燃料を節約できたこととなります。

当社のCO<sub>2</sub>排出量の76%はガソリン・軽油によるものであり、さらに改善していけるよう注力していきます。

